

令和8年6月11日

第89回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要）

（令和8年4～6月期調査）

企業の景況判断は「下降」超幅が縮小

（「下降」超は2期連続）

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（4～6月期）については、中東情勢の影響がみられるものの、需要の増加や一部で価格転嫁の進展がみられることなどから▲8.7%ポイント（前回の▲10.8%ポイントから2.1%ポイント上昇）となり、「下降」超幅が縮小。

先行き（翌期）については、引き続き中東情勢の影響が懸念されるものの、今期並みにとどまるとの見込みなどから▲5.5%ポイントと「下降」超幅が縮小する見通し。

製造業：前回▲11.2%ポイント ⇒ 今回▲10.5%ポイント（0.7%ポイント上昇、下降超幅が縮小）

「**金属製品**」（↑）：需要の増加のほか、価格転嫁が進展したことなどから上昇超に転じる

「**はん用機械**」（↑）：価格転嫁が進展したことなどから上昇下降同数

「**電気機械**」（↓）：中東情勢の影響による原材料の価格高騰や調達難などから下降超に転じる

非製造業：前回▲10.6%ポイント ⇒ 今回▲7.6%ポイント（3.0%ポイント上昇、下降超幅が縮小）

「**小売**」（↑）：家庭用エアコンに係る改正省エネ基準の施行を来年に控え、エアコンを買い換える動きがみられたことなどから上昇下降同数

「**宿泊、飲食サービス**」（↑）

：宿泊客数の増加や、人手が確保できたことによる営業日の増加などから上昇下降同数

「**建設**」（↓）：中東情勢の影響による資材の価格高騰や調達難などから下降超幅が拡大

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（6月末）については、引き続き多くの業種で人手不足感があることから、31.8%ポイント（前回の33.2%ポイントから1.4%ポイント下降）の「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）についても、30.8%ポイントの「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は継続する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780（内線260）
TEL087-811-7780（内線250）